

交通事業者ヒアリング調査・施設アンケート調査の結果について

1.調査概要

市内を運行する鉄道や路線バス、タクシーの交通事業者を対象にヒアリング調査、目的地となる観光施設や商業施設等にアンケート調査等を行い、利用者の特性や桜井市の公共交通の問題点、公共交通の見直しにあたって留意すべき点等を把握した。

2.調査対象

調査対象は、交通事業者及び観光施設、商業施設等とし、以下の日程にて実施した。

表 ヒアリング対象

調査方法	対象	分類		実施日
ヒアリング調査	交通事業者	鉄道 (2事業社)	近鉄 JR	2022年9月1日(木) 2022年8月22日(月)
		バス (1事業社)	奈良交通	2022年8月16日(火)
		タクシー (3事業社)	日の丸交通(桜井交通) 近鉄タクシー 天理タクシー	2022年8月5日(金) 2022年8月12日(金) 2022年8月16日(火)
	観光施設等	協会 (1団体)	桜井市観光協会	2022年9月9日(金)
アンケート調査		寺院仏閣 (5施設)	大神神社 長谷寺 談山神社 安倍文殊院 ※辞退 聖林寺	送付： 2022年7月29日(金) 回収： 2022年8月5日(金) ※一部、別日にて回収
	商業施設	商業施設 (3施設)	イオン桜井店 スーパーセンターオークワ ヤマト-桜井南店	

3.調査の流れ

- ・交通事業者(6事業者)及び桜井市観光協会については、事前にヒアリングシートを送付し、ヒアリング調査時に回答を得た。
- ・神社仏閣及び商業施設については、アンケート調査を送付し、受け取りにて回収した。

4.調査結果

■交通事業者(6事業者)・観光協会

・ヒアリング調査結果は以下のとおりである。

□現況

●公共交通利用者の減少

- ・定期利用のうち、通学利用は戻りつつあるものの、通勤利用がテレワーク等により減少している。
- ・桜井市は年末年始の参拝や春季、秋季の観光が多いが、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光利用が減少している。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、通勤及び観光目的の利用者が公共交通から自家用車に転換している。

●近年の観光動向：ハイキング等の開催、団体旅行から個人旅行へ

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点からハイキングやロゲイニングを開催している。
- ・修学旅行において、海外旅行から国内旅行へ変更している学校があり、修学旅行生は増加している感覚がある。
- ・新型コロナウイルス感染症に関係なく、旅行形態が団体旅行から個人旅行へ移行している。
- ・桜井市は5社寺が有名であり、1日あたり1～2社寺を巡るのが一般的である。
- ・桜井市は古墳も多く存在し、古墳を巡るハイキングを開催すると全国から参加者が集まる。

●利用者の減少に応じたサービスレベルの実施

- ・鉄道駅の省人化や、利用状況に応じたダイヤの見直し等を行っている。
- ・近鉄では、運賃値上げを申請中であり、来年には実施する予定である。
- ・奈良交通では、定期券を指定区間内から運賃区間内とする検討や Web での定期券購入について検討を進めている。

□課題

●住民が利用しやすい公共交通サービスの提供

- ・観光も大切だが、まずは地域住民に利用してもらい、公共交通を維持していく必要がある。
- ・誰もが住みやすいまちにするためにも、公共交通を維持する必要がある。

●コミュニティバス・デマンド型乗合タクシーのルート・ダイヤ等の見直し

- ・循環線のルート見直しや乗継ぎしやすさ、定時性確保のためのダイヤ見直し等の要望がある。
- ・コミバスの運賃は、均一制と対キロ区間制があるほか、複数の割引制度があり、わかりにくい。
- ・デマンド型乗合タクシーは、曜日毎に運行内容が異なるほか、運行時間が限定されている。

●キャッシュレス化の推進

- ・交通事業者はキャッシュレス化を進めている。
- ・高齢者は現金での支払いが多いが、キャッシュレスの中でも IC カードに対して比較的抵抗は低

い。ICカードは、一部を除きコンビニでチャージ可能である。

・他地域では、高齢者を対象にICカードを配布し、公共交通の利用促進を行っている。

●鉄道駅及びその周辺の活用・改良

・鉄道駅を中心としたまちづくりを進める必要があり、関係者との連携が重要である。

・利用者の安全性等を確保するために、駅前ロータリーの改善が必要である。

・JRと近鉄の桜井駅があること、桜井駅バス停が北口と南口に分かれていることから、利用者にわかりやすいように情報提供する必要がある。

・巻向駅周辺の道路が狭く、最寄りバス停や自家用車の送迎等を考えると、改良が必要である。

●関係者相互の連携

・三輪駅は、土日と大神神社の祭事開催日にボランティアが駅長をしている。

・公共交通の取組は、関係者が連携して、情報発信していく必要がある。

●年間を通じた観光客の来訪

・観光シーズンのみに来てもらうのではなく、年間を通じた来訪を進めていく必要がある。

・観光シーズンの交通渋滞の対応として、駅前の公営駐車場を利用したパークアンドライドを実施してはどうか。

●新型コロナウイルス感染防止対策の徹底・周知

・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、アルコール消毒等を充分に実施している。

・事業者がしっかりとコロナ対策を徹底していることをPRしていくことが重要。

■神社仏閣

・アンケート調査結果は以下のとおりである。

□現況

●来訪者の減少・観光シーズンでの来訪者の集中

・新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年の来訪者数は2019年の50～60%となり、それ以降、回復の見込みが立っていない。

・初詣、桜及び紅葉の時期に来訪者が多い。

●自家用車・レンタカーでの来訪

・すべての神社仏閣において、駐車場が完備されており、自動車での来訪が50～80%を占める。

・観光シーズンに、駐車場が満車となり、参道や車道に交通渋滞が発生している。

・新型コロナウイルス感染症の影響により、自家用車やレンタカーでの来訪が増加している。

□課題

●公共交通の利便性向上

- ・鉄道・バスの運行本数の増加や神社仏閣を結ぶ公共交通サービスの提供が求められている。
- ・鉄道駅の充実(待合環境の充実、駅ナカの整備、情報提供の充実、市民への提案募集・参画)やバス停の待合環境の整備を進める必要がある。
- ・公共交通利用者に対して優待サービスを提供してはどうか。

●まちの賑わいの創出

- ・桜井駅周辺のにぎわいの創出が必要である。
- ・市民をはじめとした関係者が積極的に市の取組に関わる必要がある。
- ・ストーリー性のある観光ルートの設定や周遊ルートの設定を行い、PR する。

■商業施設

- ・アンケート調査結果は以下のとおりである。

□現況

●買い物客の動向:ひとりでの買い物、まとめ買いをする客層の増加

- ・来客数は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けず、コロナ禍前後でほとんど変わらない。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、夕方～夜間の買い物客が減少したほか、ひとりでの買い物やまとめ買いをする客層が増加している。
- ・駐車場が完備されており、自動車あるいは自転車・徒歩での来場が80～100%を占める。鉄道・バスでの来場は約10%を占める。

□ニーズ

●高齢者の移動手段の整備

- ・高齢者の自家用車の危ない運転を見かける。
- ・高齢者が運転する自家用車で、の駐車場内での交通事故が発生している。

1. 神社仏閣アンケート調査

質問 1 来訪状況についてお聞きします

①コロナ禍前後における来訪状況の変化についてご記入ください。

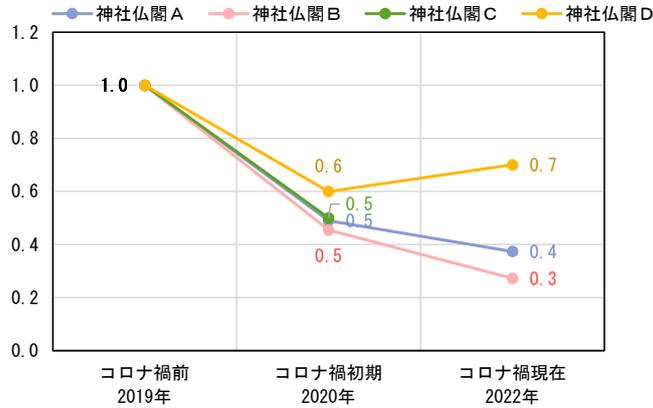


図 コロナ禍前後における来訪状況の変化

表 来訪形態

		コロナ禍前 2019年	コロナ禍初期 2020年	コロナ禍現在 2022年
神社仏閣 A	1番目に多い	夫婦・カップル	夫婦・カップル	夫婦・カップル
	2番目に多い	家族	ひとり	家族
	3番目に多い	グループ	家族	ひとり
神社仏閣 B	1番目に多い	グループ	グループ	グループ
	2番目に多い	夫婦・カップル	夫婦・カップル	夫婦・カップル
	3番目に多い	ひとり	ひとり	ひとり
神社仏閣 C	1番目に多い	ひとり	ひとり	ひとり
	2番目に多い	夫婦・カップル	夫婦・カップル	夫婦・カップル
	3番目に多い	グループ	家族	家族
神社仏閣 D	1番目に多い	家族	家族	家族
	2番目に多い	グループ	グループ	グループ
	3番目に多い	ひとり	ひとり	ひとり

②来訪が最も多い時期をお選びください。(1つに○)

表 来訪が最も多い時期

	多い時期
神社仏閣 A	5月
神社仏閣 B	11月
神社仏閣 C	11月
神社仏閣 D	1月

③コロナ禍の来訪傾向についてお気づきの点がありましたらご記入ください。

- ・自家用車での来訪が増えた。
- ・2021年は観音様が不在だったので、コロナの影響かどうかは不明である。
- ・分散(日程・人数等)での参拝が増加した。御守・祈祷の通信(TEL申込み、配達扱い)での対応が増加した。参拝者は徐々に以前の人数へ戻ってきている傾向にある。

質問 2 来訪手段についてお聞きします

① 来訪手段の割合について、おおよそ構いませんのでご記入ください。

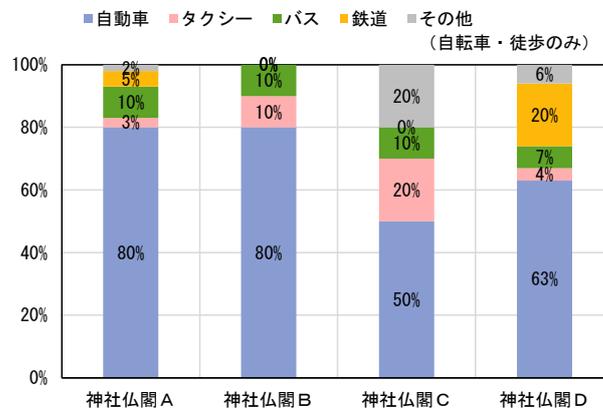


図 来訪手段の割合

② 保有されている来訪者専用の駐車場はありますか。ある場合は、駐車場箇所数と総駐車台数、駐車料金をご記入ください。

表 来訪者専用の駐車場の有無

	有無
神社仏閣 A	ある
神社仏閣 B	ある
神社仏閣 C	ある
神社仏閣 D	ある

③ 最寄りに民間が経営する駐車場はありますか。ある場合は、駐車場箇所数と総駐車台数、駐車料金をご記入ください。

表 民間駐車場の有無

	有無
神社仏閣 A	不明
神社仏閣 B	ない
神社仏閣 C	ない
神社仏閣 D	ある

④ 来訪手段（タクシー・バス・鉄道を除く）について、困っていることや改善の余地がありましたらご記入ください。

- 来訪が最も多い時期に駐車場が満車になり、参道や車道の渋滞が発生する。
- 来訪者が多い時期に駐車場が満車になり渋滞が起こる。
- カーナビで来られる時に旧道を紹介するようで道が細すぎて怖かったと言われる。新しい道路も並行して走っている。
- 大神神社景観まちづくりの計画に沿って、県道三輪山線に関わる踏切等交差部分を重点的に車両並び歩行者双方の安全対策について進めていただきたい。将来的には、大鳥居交差点より市外へ抜けられるバイパス整備がなされれば国道 169 号をはじめとする周辺道路渋滞解消と地域狭隘道路への地元外車両進入の減少が効果的になされるのではないかと感じる。

質問3 公共交通についてお聞きします

①神社仏閣までの公共交通でのアクセス情報を提供していますか。(1つに○)

表 情報提供の有無

	提供の有無
神社仏閣A	提供している
神社仏閣B	提供している
神社仏閣C	提供している
神社仏閣D	提供している

①-1 情報提供方法 (あてはまるものすべてに○)

表 情報提供方法

	神社仏閣のホームページやSNSに掲載	神社仏閣で作成したチラシを配布	桜井市コミュニティバス時刻表を配布	電話で案内	その他
神社仏閣A	○	○		○	
神社仏閣B	○		○	○	
神社仏閣C	○	○	○	○	
神社仏閣D	○		○		

②神社仏閣周辺の公共交通について、困っていることや改善の余地がありましたらご記入ください。

- 最寄りのバス停まで距離がある。最寄りの駅が無人駅になってしまった。
- バスの本数が少ないので、特に日中に増やしてほしい。談山神社から明日香方面へ抜けるルートを作ってほしい。
- 本数がとにかく少なすぎ(特に昼頃は2時間近くない)。仕方なく徒歩やタクシーを紹介している。最寄りバス停の待合はなく、日除けもないので改善をお願いしたい。
- JRの本数が少ない。
- 時間短縮として、JRの都市(大阪)からの直行便があればいい。今は時間がかかりすぎる。
- 駅舎が大阪市内と美しさに見劣りする。醸している雰囲気には差がある。
- 参拝した後に参拝者はどう移動するのか。ダイヤまで、暇を持って余すことにうんざりしたら桜井へのリピーターにはならないのではないかと思う。
- 神社の祭典案内やチラシに「公共交通をご利用ください」と書いてもバスも電車も少ない。
- 神社は経費負担しながらも、土、日は桜井駅からバスの運行に協力している。
- 近鉄桜井駅からバスで参拝に来られる方に、もっと魅力があればいいのかもしれない。
- 公共交通が車社会に対抗するには、飲食ほかもある街の賑わいと考えられる。
- 駅ナカにくつろげる場所がない。
- 神社は世間から見ると「日本の文化遺産」や「観光資源」として街おこしの重要な要素だが、もともとは信仰の対象である。参拝者が集まることによって、桜井市が歴史文化都市として栄えることに繋がる。神社は境内の清浄を維持することで、参拝者や観光来訪者に「癒やし」に浸ってもらえるよう心がけている。

③ 神社仏閣として、公共交通と連携した取組について何かお考えがありましたらご記入ください。

- 桜井駅から談山神社までのバスを明日香村まで延ばし、相互に人が動けるルートを作ってほしい。
- 桜井市の五社寺を回れるバスかタクシーがあると良いと思う。せめて談山神社―聖林寺―安倍文殊院―大神神社は一本の線で結んでほしい。
- 神社がイベントを主催することは、宗教活動本義に照らして限度がある。
- 公共交通機関と連携した取組の全国の事例を調べ、桜井市でできることの検討に入れたい。
- 奈良交通は定期観光バスを企画運営しているおり、当社は参加者のご案内で協力している。
- JR がイベントとして団体参拝を企画する場合は、神社のできることは参拝や祈祷の受入れである。営業活動を行うことはできないが、祈祷や料金については相談に応じる。
- 駅や商店街などのイベントとして団体で参拝する場合、3年（3回）は続けるつもりで企画した方が良い。
- 神社が参拝していただけるようできることは、ポスターなどを通じて広い意味で参拝のご案内をすることである。洗練されたキャッチコピーと知的レベルの高いディスプレイによる広報が必要である。
- 「幸せ度数」の低い日本人にとって、古の奈良・桜井に足を運んでもらうことは社会的時代ニーズに合致している。

質問 4 桜井市の公共交通全般についてお聞きします

○桜井市において公共交通ネットワークを構築するための取組や計画全般に対する意見や要望等がありましたらお教えください。

- 桜井市の神社仏閣観光に特化した周遊のバス路線があると良いのではないかと。
- 桜井市の観光資源は1つ1つが点在し離れているため、車での移動が必要となるが、どこに何があるのかがわかりにくいように思う。歴史と観光資源との意味づけをし、ストーリー性のある観光ルートがあると良いと思う。
- 奈良交通、タクシー、様々な手段を利用して複合的に桜井を盛り上げるようになったら良いと思う。
- 市が取り組もうとしている政策を、更に更に深く市民に浸透させる活動を希望する。
- 市の中心である桜井駅の人流の増加策に取り組む。桜井駅南と北の大整備しない限りは将来像を描きにくい。エルト1階は放課後の学生が集う場所になっているがそれ以外の魅力が少ない。
- 人口減少の現況においての行政の活性化政策は、特効薬的な新しいアイデアはない。今回は公共交通についてのアンケートであるから、桜井駅の地元の関係者が何か発言しなければ意味がない。近鉄とJRにダイヤのことだけ要望しても変わらない。
- 初めは10億円事業ぐらいから始めてはどうか。
- JRの施設活用の協力をしてもらえれば、若者や主婦からアイデアが出そう。駅ナカカフェや駅居酒屋の成功例もあり、「しごと」が生まれそう。
- 各駅前商店街の共通連携したおもてなし精神と具体的受け入れ整備のための市の支援体制を構築する。
- 桜井市が「公共交通ネットワークを構築する」とあるが内容を聞きたい。桜井市が公共交通事業に乗り出すのか。
- 第6次桜井市総合計画、第2期桜井市まち・ひと・しごと創生総合計画、第2期桜井市観光基本計画、桜井市景観計画、桜井市都市計画マスタープラン、桜井市地域防災計画、桜井市歴史文化基本計画、纏向遺跡関連事業計画等、市の政策計画との連携を整理する。
- アンケート趣旨は県外の来訪者向けの利便性であると推測される。例えば大阪から来る来訪者が大神神社に来た後、どのように市内観光または桜井市周辺観光をできるのか。コンサルタントに分析整理していただきたい。山の辺の道散策だけでは桜井市に利益がないように思われる。

2. 商業施設アンケート調査

質問1 来客状況についてお聞きします

① コロナ禍前後における来客状況の変化についてご記入ください。

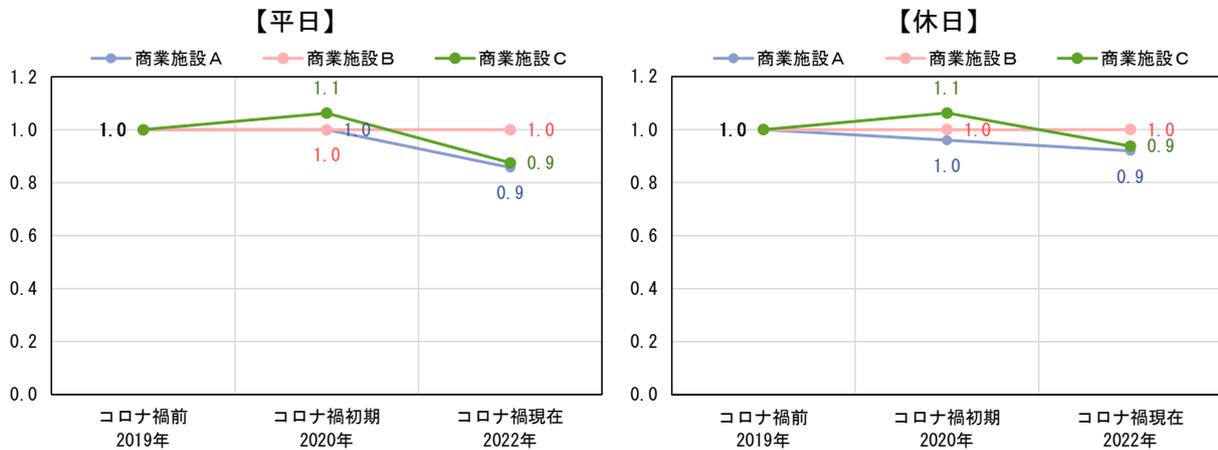


図 コロナ禍前後における来客状況の変化

表 来客形態

		コロナ禍前 2019年	コロナ禍初期 2020年	コロナ禍現在 2022年
商業施設 A	1番目に多い	ひとり	ひとり	ひとり
	2番目に多い	家族	家族	家族
	3番目に多い	グループ	グループ	グループ
商業施設 B	1番目に多い	夫婦・カップル	夫婦・カップル	ひとり
	2番目に多い	家族	ひとり	家族
	3番目に多い	ひとり	家族	夫婦・カップル
商業施設 C	1番目に多い	家族	夫婦・カップル	夫婦・カップル
	2番目に多い	夫婦・カップル	家族	家族
	3番目に多い	無回答	無回答	無回答

② 来客が多い時間帯をお選びください。(1つに○)

表 来客が多い時間帯

	平日	休日
商業施設 A	午前中	午前中
商業施設 B	午前中	午前中
商業施設 C	16~18時	16~18時

③ コロナ禍の来客の買い物傾向等についてお気づきの点がありましたらご記入ください。

- ・夕方～夜間の来客が減った。
- ・まとめてお買物をされる方が増えた。
- ・買物回数が減り、1回で済ますお客様が増えた。

質問 2 来客の交通手段についてお聞きします

①来客の交通手段の割合について、おおよそ構いませんのでご記入ください。

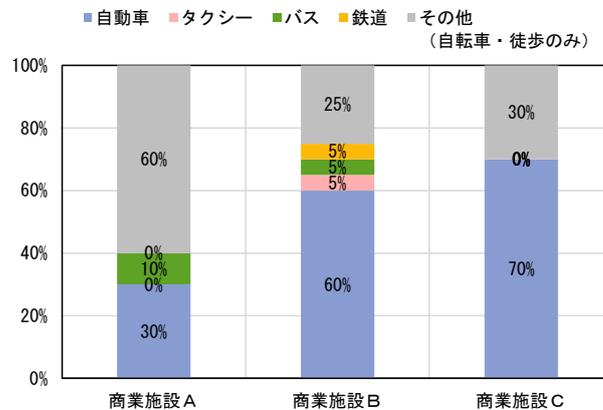


図 来客の交通手段の割合

②来客専用の駐車場はありますか。ある場合は、駐車場箇所数と総駐車台数、駐車料金をご記入ください。

表 来客専用駐車場の有無

	有無
商業施設 A	ある
商業施設 B	ある
商業施設 C	ある

③最寄りに民間が経営する駐車場はありますか。ある場合は、駐車場箇所数と総駐車台数、駐車料金をご記入ください。

表 民間駐車場の有無

	有無
商業施設 A	ない
商業施設 B	ない
商業施設 C	ない

④交通手段（タクシー・バス・鉄道を除く）について、困っていることや改善の余地がありましたらご記入ください。

- ・高齢者が運転する危ない走行をよく見かけるため、免許を返納しても買物に来られる交通手段が必要である。
- ・高齢者の運転する車で駐車場内での事故が年に数回ある。

質問3 公共交通についてお聞きします

①商業施設までの公共交通でのアクセス情報を提供していますか。(1つに○)

表 情報提供の有無

	提供の有無
商業施設A	提供している
商業施設B	提供している
商業施設C	提供している

①-1 情報提供方法 (あてはまるものすべてに○)

表 情報提供方法

	施設のホームページやSNSに掲載	施設で作成したチラシを配布	桜井市コミュニティバス時刻表を配布	電話で案内	その他
商業施設A	○	○		○	
商業施設B	○		○	○	
商業施設C	○				

②商業施設周辺の公共交通について、困っていることや改善の余地がありましたらご記入ください。

- 駅から店舗まで遠いため、バスの本数がもっとあれば便利だと思う。

③商業施設として、公共交通と連携した取組について何かお考えがありましたらご記入ください。

- 交通手段のない方への対応サービスがあると良いと思う。タクシー専用電話は設置済である。

質問4 桜井市の公共交通全般についてお聞きします

○桜井市において公共交通ネットワークを構築するための取組や計画全般に対する意見や要望等がありましたらお教えてください。

- 回答なし